

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市市之瀬運動広場		
管理者名	荻川コミュニティ振興協議会	指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日
担当課	秋葉区役所地域課		
所在地	新潟市秋葉区市之瀬746番地1		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	市之瀬運動広場 敷地面積 24,000㎡ 多目的グラウンド (野球場2面・サッカーコート1面・陸上トラック・テニスコート・ゲートボールコート) 芝生広場		

施設設置目的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。
管理・運営に関する基本理念，方針等
(1)新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市民	広報の充実	・HP等による毎月の情報提供	2～3ヶ月に一回	B	適切な情報提供がなされている
	基準利用者数の達成	・年間10,000人以上	8,644人	C	目標を下回った
	基準稼働率の達成	・全体育施設平均利用率55%以上(利用日数/開館日数)	32% (12月～2月は除外)	C	目標を下回った
	設置目的に合致したサービス提供	・施設や指定管理者の特色を生かした事業の実施	施設環境を整え、利便性の向上に努めた	B	施設の利便性の向上につながった
	地域連携	・地域と連携した事業の実施	ソフトボール大会	B	実施している
財務	管理運営経費の削減	・管理運営経費を年間8,759千円以下	適切	B	適切な運営がなされている
業務	人身事故に関するもの	・補償を伴う事故発生件数0件	0件	B	事故発生の報告なし
	事業報告の適切さ	・事業報告の〆切厳守	適切	B	適切に実施した
	危機管理体制の整備	・危機管理マニュアルの職員周知	適切	B	適切に実施した
	安全確保の取組	・AED講習会等の年1回以上の実施	実施なし	C	実施していない
	事故防止の取組	・設備、備品等の日常点検及び定期点検による事故防止対策の実施	適切	B	適切に実施した
	関係法令の遵守	・個人情報保護、情報公開及びコンプライアンスに対する職員周知	適切	B	適切に実施した
	業務仕様書等に定める事項の遵守	・業務仕様書等に定める事項の遵守	適切	B	適切に実施した
人材	配置人員のスキルの習得度	・職員研修を年2回以上実施	実施なし	C	実施していない

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

新規の芝は順調に育っています。今後も芝管理について維持していきます。

H28年度は階段の修繕もし、施設の安全確保に努めました。

AED講習会は、H29年度に実施します。

所管課による総合評価(所見)

指定管理3年目として、設備の管理を十分に実施し、施設の管理・維持に努めた。

施設利用者は、前年度を大幅に下回る結果となってしまったが、施設の稼働率自体は32%と前年度並みであった。

来年度は、引き続き利用者数の増加に努めるとともに、利用者の利便性向上・安全管理徹底のため、AED研修をはじめ各種研修を積極的に実施するなど職員のスキルをさらに向上させる取組みを期待する。